



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月10日

上場会社名 株式会社大紀アルミニウム工業所 上場取引所 東
コード番号 5702 URL <https://www.dik-net.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 林 繁典
問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理部担当 (氏名) 川口 絵里 (TEL) 06-6444-2751
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	232,540	9.1	4,529	28.1	2,990	8.5	1,837	24.6
2025年3月期第3四半期	213,127	5.6	3,536	7.1	2,756	△9.2	1,474	△39.5

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 670百万円(△78.1%) 2025年3月期第3四半期 3,066百万円(△47.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	46.43	45.72
2025年3月期第3四半期	36.75	36.19

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	172,195	72,194	41.5
2025年3月期	163,295	73,712	44.7

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 71,494百万円 2025年3月期 72,925百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	25.00	—	30.00	55.00
2026年3月期	—	25.00	—		
2026年3月期(予想)				30.00	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	317,200	5.8	6,110	26.4	4,920	31.2	3,360	380.6	84.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2026年3月期3Q	43,629,235株	2025年3月期	43,629,235株
2026年3月期3Q	4,056,925株	2025年3月期	4,056,711株
2026年3月期3Q	39,572,435株	2025年3月期3Q	40,135,984株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等へのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、本四半期決算短信 (添付資料) P. 3 「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(参考)

1. 2026年3月期第3四半期の個別業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	136,987	7.4	2,223	28.2	2,473	4.2	1,703	3.3
2025年3月期第3四半期	127,569	8.8	1,734	0.9	2,374	4.0	1,648	△34.4

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	43.05	42.39
2025年3月期第3四半期	41.07	40.45

2. 2026年3月期の個別業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	185,400	8.0	2,250	△9.0	3,710	△8.5	2,910	—	73.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(収益認識関係)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、トランプ関税による影響の顕在化が予想されるなかでも、各国のトランプ関税への対応やAI需要の拡大が下支えとなり、底堅い成長を維持いたしました。また、わが国経済についても、米国の通商政策による影響が自動車産業を中心にみられるものの、緩やかに回復いたしました。

当アルミニウム二次合金業界では、主要顧客である自動車・輸送機器関連向けを中心に需要の底堅さが見られたものの、一部には在庫調整の動きも見られました。また、世界的な新車販売は概ね前年並みで推移しましたが、EV市場を中心とした競争激化や政策・補助金動向の変化により、地域・車種別で影響が分かれる展開となりました。一方、原料となるアルミスクラップの発生減や輸出価格の高騰を要因としたスクラップ価格の高止まりにより、収益環境に影響を及ぼしました。

このような事業環境の下、当社グループの連結売上高におきましては、米国による利下げや、中国のアルミ生産制限及び欧州での電力価格高騰による供給懸念・需要期待により、LME価格が上昇したこともあり、アルミニウム二次合金地金1,397億6千3百万円（前年同期比2.6%増）、商品・原料他927億7千6百万円（前年同期比20.5%増）で、これらを併せた売上高総額は2,325億4千万円（前年同期比9.1%増）となりました。

また、収益面におきましては、国内については原料コストの上昇がありましたが、製品及び商品の堅調な需要に支えられました。また、海外についても、タイ子会社の収益改善とインド子会社における販売価格の是正や材料転換を進め、収益の回復軌道に至りつつあります。これらの結果、営業利益45億2千9百万円（前年同期比28.1%増）、経常利益29億9千万円（前年同期比8.5%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は18億3千7百万円（前年同期比24.6%増）を計上することとなりました。

事業別セグメントの状況は、次のとおりであります。

アルミニウム二次合金事業は、収益面の説明とおり、売上高は2,292億9千2百万円（前年同期比8.9%増）、営業利益は41億3千3百万円（前年同期比25.3%増）となりました。その他の事業セグメントについては、ダイカスト製品事業が順調に推移したことにより、売上高は43億6千2百万円（前年同期比16.1%増）、営業利益は3億9千3百万円（前年同期比68.2%増）となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

① 流動資産

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ85億7千1百万円増加し1,362億6千1百万円となりました。これは主に現金及び預金が8億8千3百万円、受取手形及び売掛金が42億5千3百万円、商品及び製品が10億4千2百万円、原材料及び貯蔵品が21億6百万円それぞれ増加したことによるものであります。

② 固定資産

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べ3億2千7百万円増加し359億3千4百万円となりました。これは主に、投資有価証券が15億6千8百万円増加したことと、有形固定資産が3億1千4百万円、投資その他の資産のその他が8億9千6百万円それぞれ減少したことによるものであります。

③ 流動負債

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ105億8千5百万円増加し890億8千9百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が24億3千9百万円、短期借入金が99億7千3百万円それぞれ増加したことと、未払金が8億9千6百万円減少したことによるものであります。

④ 固定負債

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べ1億6千7百万円減少し109億1千1百万円となりました。これは主に、繰延税金負債が2億8千1百万円増加したことと、長期借入金が4億3千5百万円減少したことによるものであります。

⑤ 純資産

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ15億1千8百万円減少し721億9千4百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が9億8千4百万円増加したことと、利益剰余金が3億3千9百万円、為替換算調整勘定が19億8千7百万円それぞれ減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の通期の業績予想につきましては、2025年5月14日に「2025年3月期決算短信〔日本基準〕（連結）」において公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,341	8,225
受取手形及び売掛金	64,088	68,342
商品及び製品	22,481	23,524
仕掛品	162	154
原材料及び貯蔵品	29,066	31,173
その他	4,562	4,854
貸倒引当金	△14	△12
流動資産合計	127,689	136,261
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	21,610	21,499
減価償却累計額及び減損損失累計額	△11,745	△12,113
建物及び構築物（純額）	9,865	9,385
機械装置及び運搬具	39,453	40,829
減価償却累計額及び減損損失累計額	△30,160	△31,004
機械装置及び運搬具（純額）	9,292	9,825
工具、器具及び備品	2,330	2,385
減価償却累計額及び減損損失累計額	△1,894	△1,984
工具、器具及び備品（純額）	435	400
土地	4,323	4,315
リース資産	2,233	2,084
減価償却累計額及び減損損失累計額	△602	△605
リース資産（純額）	1,631	1,479
建設仮勘定	590	417
有形固定資産合計	26,138	25,824
無形固定資産	224	196
投資その他の資産		
投資有価証券	5,519	7,088
長期貸付金	3	3
退職給付に係る資産	906	909
繰延税金資産	440	420
その他	2,723	1,826
貸倒引当金	△349	△334
投資その他の資産合計	9,243	9,914
固定資産合計	35,606	35,934
資産合計	163,295	172,195

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,520	14,959
短期借入金	59,771	69,745
未払金	2,589	1,692
未払法人税等	493	284
未払消費税等	375	233
未払費用	1,421	1,339
賞与引当金	302	363
その他	1,030	471
流動負債合計	78,504	89,089
固定負債		
長期借入金	7,309	6,874
役員退職慰労引当金	11	12
退職給付に係る負債	448	452
リース債務	187	165
資産除去債務	302	305
繰延税金負債	2,672	2,953
その他	146	146
固定負債合計	11,079	10,911
負債合計	89,583	100,001
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,346	6,346
資本剰余金	8,773	8,773
利益剰余金	48,315	47,976
自己株式	△2,387	△2,387
株主資本合計	61,048	60,708
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,001	2,985
繰延ヘッジ損益	20	11
為替換算調整勘定	9,633	7,646
退職給付に係る調整累計額	221	142
その他の包括利益累計額合計	11,877	10,785
新株予約権	142	142
非支配株主持分	644	556
純資産合計	73,712	72,194
負債純資産合計	163,295	172,195

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	213,127	232,540
売上原価	203,222	221,563
売上総利益	9,904	10,976
販売費及び一般管理費		
運搬費	2,585	2,666
貸倒引当金繰入額	3	—
役員退職慰労引当金繰入額	0	1
賞与引当金繰入額	81	78
その他	3,697	3,701
販売費及び一般管理費合計	6,367	6,446
営業利益	3,536	4,529
営業外収益		
受取利息	88	119
受取配当金	194	139
技術指導料	4	0
鉄屑売却益	97	67
その他	272	182
営業外収益合計	657	510
営業外費用		
支払利息	1,142	1,294
持分法による投資損失	85	272
為替差損	149	392
その他	60	91
営業外費用合計	1,437	2,050
経常利益	2,756	2,990
特別利益		
固定資産売却益	9	9
特別利益合計	9	9
特別損失		
固定資産除売却損	79	86
特別損失合計	79	86
税金等調整前四半期純利益	2,686	2,913
法人税、住民税及び事業税	1,110	1,198
法人税等調整額	152	△88
法人税等合計	1,263	1,109
四半期純利益	1,422	1,803
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△52	△33
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,474	1,837

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	1,422	1,803
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	66	984
繰延ヘッジ損益	117	△9
為替換算調整勘定	1,491	△2,022
退職給付に係る調整額	△81	△79
持分法適用会社に対する持分相当額	48	△6
その他の包括利益合計	1,643	△1,133
四半期包括利益	3,066	670
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,120	745
非支配株主に係る四半期包括利益	△53	△75

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	アルミニウム 二次合金				
売上高					
外部顧客への売上高	209,418	3,708	213,127	—	213,127
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,171	49	1,221	△1,221	—
計	210,590	3,758	214,348	△1,221	213,127
セグメント利益	3,299	233	3,533	3	3,536

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ダイカスト製品事業及びアルミニウム溶解炉事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額3百万円には、セグメント間の取引消去金額3百万円が含まれております。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	アルミニウム 二次合金				
売上高					
外部顧客への売上高	228,216	4,323	232,540	—	232,540
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,076	39	1,115	△1,115	—
計	229,292	4,362	233,655	△1,115	232,540
セグメント利益	4,133	393	4,526	2	4,529

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ダイカスト製品事業及びアルミニウム溶解炉事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額2百万円には、セグメント間の取引消去金額2百万円が含まれております。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注)	合計
	アルミニウム二次合金		
日本	106,349	2,036	108,386
アジア(日本除く)	101,544	1,671	103,216
欧州	15	—	15
その他	1,509	—	1,509
顧客との契約から生じる収益	209,418	3,708	213,127
外部顧客への売上高	209,418	3,708	213,127

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ダイカスト製品事業及びアルミニウム溶解炉事業を含んでおります。

当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注)	合計
	アルミニウム二次合金		
日本	114,052	1,899	115,951
アジア(日本除く)	112,857	2,424	115,282
欧州	158	—	158
その他	1,148	—	1,148
顧客との契約から生じる収益	228,216	4,323	232,540
外部顧客への売上高	228,216	4,323	232,540

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ダイカスト製品事業及びアルミニウム溶解炉事業を含んでおります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産及び長期前払費用に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	2,900百万円	2,842百万円